



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの

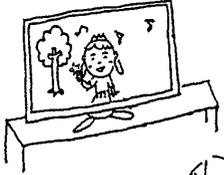


ご機嫌しだいの3歳児



大切にしたい力	項目	園で予想される姿	園でのかかわり
好奇心や探求心をもって、ものとかかわる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊び（遊具や場）を見付け、見立てたり、「〇〇のつもり」の遊びをしたりして楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭にあるような遊具を多めに用意し、それぞれが興味のある物で遊ぶことを楽しめるようにする。 保育者も一緒に遊ぶことで遊びの楽しさを感じられるようにする。 ごっこ遊びなど、幼児が体験したことをその子なりに再現したり、動物やお母さんなど何かになりきったりしている姿を受け止め、楽しんでる世界を受容したり、共感したりする。
	自然とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもつようになる。 感覚的な遊びを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な虫や草花に出会い、見たり触れたりすることを楽しめるように、戸外で遊ぶ機会をつくる。 水や砂の感触や、解放感を味わいながら遊ぶことができるように、砂場に扱いやすい遊具を用意したり、様々な水遊びを取り入れたりする。 
	言葉や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な言葉が分かり、使うようになる。 簡単な色・数・量・形などに興味をもつようになる。 自分なりに思いを表わすようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要な言葉（「貸して。」「入れて。」「ごめんね。」など）や時間や場所を表す言葉、会話で使う言葉を知らせ、友達とのかかわりが楽しめるようにする。 伝えたい思いを具体的な言葉で代弁したり、思いに寄り添って共感したりしながら、自分の思いの表出を支援する。

家庭で大切にしたいこと（保護者のかかわり）

 <p>プリンセスになって遊ばせよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> テレビや動画などの視聴だけではなく、子どもが自分から興味のある遊びにかかわる時間を大切にしましょう。（視聴時間は各家庭で上限を決めるとよいです。） 園での様子を聞いたり、興味のあることを話題にしたりして、子どもの興味に寄り添いましょう。 物を何かに見立てて遊ぶ姿や、何かになりきって楽しんでいる姿を見守り、温かく受け止めましょう。
 <p>穴が大きくなって</p> <p>よし、一筋のトンネルをぞろぞろ!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、砂遊び、虫探しなど、好奇心を大切にし、自然物に直接触れて遊ぶ機会をつくりましょう。 虫を見る、花の香りを楽しむ、砂場で遊ぶなど、諸感覚を使って大人も一緒に様々な感触を楽しみましょう。
 <p>入れて</p> <p>お友達が「入れて」って言ってるわよ</p> <p>何で言ったのかわからな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大人の話す言葉がモデルとなるように意識しましょう。また、遊びの中で「貸して。」「待っていてね。」など、必要な言葉も知らせましょう。 絵本の読み聞かせなどをとおして様々な言葉に触れる機会をつくったり、楽しかったことを話したりしながら、言葉のやりとりを楽しみましょう。 大人が、子どもの気持ちを切り替えるきっかけを作り、「〇〇したかったんだね。」など、受容する言葉を掛けながら気持ちに寄り添い、思いの表出を見守りましょう。